

パッソ通信

20号



メンバーさんに聞いてみました

回復に向かって～居場所と仲間と～

パッソではメンバーそれぞれの目標に合わせた利用ができます。今回はインタビューを紹介しします。

パッソに通所するイメージが少しでも伝われば幸いです。



藤田さんプロフィール

通所して1年3か月。断酒して4年。

家族の勧めでパッソに繋がる。

※藤田さんの想いが詰まったブログはこちら！



Q. 通所当初のことを教えてください。

A. 最初は週2日の通所でした。慣れてきて

“もっと働きたい”と思い、日数を徐々に

増やし、現在は週4日通所しています。



Q. パッソでどんなことをしていますか？

A. 毎日軽作業と清掃を行っています。



“自分にもこんなことができるんだ”

という気づきや自信に繋がっています。



Q. 通所を通しての変化はありますか？

A. 足腰が強くない、



体力がついてきました！

皆さんと一緒に作業をすることで、

周りがよく見えるようになりました！



私の思う“パッソのここがいい！”

A. ミーティングの時間も充実していることです。



特に福祉講座は勉強になります。



ミーティング等
パッソの詳細はこちら！



イラスト：メンバー十河作&いらすとや

飲酒による問題で失った信用を取り戻すため、日々地道に訓練に取り組んでいます。

私にとってパッソはみんなで依存症からの回復と社会復帰を目指す

大切な居場所です。



パッソの利用状況：定員20名。登録者26名。（男性24名。女性2名。） 週5日11名。週4日6名。週3日3名。週2日2名。4名休止中。（2021.6月現在）

編集後記：今回は“掲示されていても読みやすい”をテーマに、文章を最小限にし、見やすいレイアウトを意識しました。多くの方の目に留まることを祈っています。次は開設記念号です！次回もお楽しみに！（竹中）

スタジオパッソ 東大阪市足代新町14番17号 TEL.06-4308-8833 FAX.06-4308-8834 E-mail:passo@osaka.email.ne.jp HP:http://www.studio-passo.com

スタジオパッソは、一般社団法人パッソが運営する「障害者総合基本法」に基づく就労継続支援B型事業所です。 依存症からの回復を自指します。